

# 議会報告会を開催

明石市議会では、市民の意思を把握し議論や政策立案等に反映するため、議会報告会を開催しています。常任委員会ごとにテーマを決めて関係する団体と意見交換を行いました。

## シティセールス

明石商工会議所青年部  
明石市商店街連合会青年部  
明石青年会議所  
町衆明石  
×  
総務常任委員会

平成30年1月22日に、明石の魅力をもっと多くの方に知ってもらうことでブランド力を向上させるというシティセールスという取り組みについて、明石商工会議所青年部、明石市商店街連合会青年部、明石青年会議所、町衆明石の計12名と意見交換しました。

**明石市制100周年**

- 一過性のイベントで終わらせず、100周年以降も継続して市民が担い手となり、明石への愛着心、愛郷心を醸成する取り組みが必要だ。
- **B-1グランプリ**  
多数の来場者があったこと、明石駅前を歩行者天国にしたことは良かった。
- チケットの不足、料理を提供する速さといった運営面について課題があったのではないかと。
- **若年層の定住促進**  
便利な商店が近くにあり、住みたい理由の一つになる。
- 明石の魅力を発信するには、商店街の取り組みが重要である。催し等を実施しているが、中心市街地以外の商店街は苦戦している。
- 商店の出店補助に関する情報が不足しているため、市の補助内容について、不動産業者や工務店などに情報提供を行うと良いのではないかと。また、出店補助については短期間かつ少額なものも多く、活用しにくい。
- 子育て支援に関して、医療や保育の充実に加えて、リフォームや引越費用等への補助も有効ではないかと。
- 震災、火事等の非常事態の際、隣同士の顔が見える環境は必要である。明石市には、地域コミュニティが根付いており、子どもの情操教育にとっても良いことなどをアピールしていくべきだ。



明石で行われたB-1グランプリ西日本大会

## 更生支援

明石市保護司会  
明石地区更生保護女性会  
社会を明るくする運動  
明石地区推進委員会  
×  
文教厚生常任委員会

平成30年2月7日に、罪を犯した人に支援を行うことで再犯を防止すること、誰もが安心して暮らせるまちとする更生支援の取り組みについて、関係団体や支援機関等の現状を把握するため、明石市保護司会、明石地区更正保護女性会等の13名と意見交換しました。

**市の取り組み**

- 近年、市は積極的に更生支援の啓発を行い、条例制定も検討しているが、いいことだ。
- 個人のプライバシーが関係するため、対象者には個人での対応となり、全体として動くことが難しい分野である。立ち直りを支援するという活動は変わらない。
- 行政と関係団体等がどのように連携・情報を共有するかが課題だ。
- **再犯防止のポイント**  
就労支援が最も重要だ。協力雇用主制度の登録は、市内では7企業に留まる。
- 他市では、保護司会と協定を結び、罪を犯した人を臨時職員として雇用する例もある。
- 市民への理解を深めることと、関係者がどう連携・協力するかが大切だ。
- 本人に対する家族の理解不足もあるが、本人だけでなく家族を助けることができるような支援も必要。
- **福祉サービスへつなげる**  
自分が刑務所にいることが認知できていない対象者が増えている。罰を与えることが、果たして再犯の防止につながるのか。対象者が、何らかの福祉的支援を受けられることができる体制が必要ではないか。
- **やさしいまちを目指して**  
一番大切なことは、人のことを我がこととして捉えること。相手の痛みが分かる社会を、目指していくことだ。



昨年開催の明石更正支援フェア

## 明石市の環境問題

エコウイングあかし  
×  
生活文化常任委員会

平成30年1月22日に、4月から施行する資源ごみの持ち去り行為の禁止に関する条例の改正やごみの減量化について報告するとともに、明石市環境基本計画の施策を推進するために設立されたエコウイングあかしの6名と本市の環境問題について意見交換しました。

**食品ロス**

- 食品ロスを減らすことはごみの減量やCO<sub>2</sub>削減につながり、エネルギーにも関連する重要なことではないか。
- 本市はこの取り組みが少し遅れていると感じる。
- 現状に対し、議会として議論していきたい。
- **明石の自然環境**  
明石の自然が宅地造成等で減少している。希少な生物がいる中で、子ども達が環境学習をすることは重要ではないか。自然を守ることが生物多様性あかし戦略
- 推進会議で「明石の大切な生きものリスト」を作成した。こういうものをきっかけに明石の自然の大切な場所を知ってもらい、宝として残していくことにつなげてもらいたい。
- **資源ごみの持ち去り**  
小型家電回収日に捨てられた家電を勝手に持ち去る者がいる。何とかできないものか。
- 捨てられたごみ袋の中を見て、物色する人がいる。30年4月からは条例が施行され、ごみの持ち去りには厳しく対応していけるようになる。
- **太陽光パネルの設置**  
防災の観点から、災害時に避難所となる学校の屋上に太陽光パネルを設置し、災害時に活用するのはどうか。
- 災害時に避難所に太陽光発電があれば、温かい食事の提供が可能であり、明るい場所でも過ごせる。



分別すれば貴重な資源

## 高齢者の交通安全対策

明石市高年クラブ連合会  
明石交通安全協会  
明石市交通安全シルバーリーダー  
明石警察署  
明石地区タクシー協会  
神姫バス株式会社  
×  
建設企業常任委員会

平成30年1月18日に、高齢者の交通安全対策について、明石市高年クラブ連合会、明石交通安全協会、明石市交通安全シルバーリーダー、明石警察署、明石地区タクシー協会、神姫バス株式会社等の計20名と、それぞれの取り組み状況を踏まえ意見交換しました。

**交通事故の現状**

- 平成29年の明石警察署管内では、11月末時点で全ての人身事故のうち、高齢者に関係する事故が、32.4%を占めている。また、道路横断中に歩行者と車両が衝突する事故が多いという特徴がある。
- **各団体の取り組み状況**  
バス会社としては、バス車内での転倒事故防止を最重要視している。運転士には、確実に着席するまで発進させないことや、マイク案内での注意喚起を徹底させている。
- タクシー業界は、乗務員にも高齢化の問題が及んでいる。安全面を補完するため自動ブレーキを搭載した車両を導入する方針である。
- シルバーリーダーは、市主催の交通安全教室や学校での自転車実技訓練の補助、チラシ、啓発物を駅周辺で配布する活動をしている。
- 明石警察署は、交通安全教育で早めのライト点灯、ハイビームの適切な使用など高齢者を守るための広報啓発活動を行っている。
- **安全対策**  
信号のない横断歩道で人が待っていたら自動車は一旦止まるというルールを周知する啓発運動が有効ではないか。
- 高齢となって運転技能が低下し、人を傷つけるかもしれないと思っただけは運転免許証を返納してほしい。
- 自転車保険への加入を推奨している。



交通ルールの徹底を